

ご挨拶

代表：横須賀邦子

日頃より皆様にはご支援を賜りましてありがとうございます。おかげさまでもちまして2004年の活動も次年度第6回のフォーラム準備として、ご案内を送る季節となりました。道内の山々の登山口に新しいトイレが設置されるニュースを聞く毎に事務局の大きな励みとなっております。地元で活躍されるメンバーの地道な活動による効果が現れてきていると感じられます。

またトイレデーの定着も、道内各地のメンバーが同じ日に行動する効果があり、広く知っていただくいい機会となっております。これからも継続した活動を各所で続け、地元の山々をいつまでも美しく、楽しみましょう。

活動報告

1. 第5回フォーラムの開催(2004.2.7)

第5回山のトイレを考えるフォーラムが札幌コンベンションセンターで開催され、60名を超える参加者を迎えて行われました。今回のテーマは「山小屋のトイレから考える山のトイレ問題」です。ゲストスピーカーは次の6人でした。

- ・小室一也氏 (北海道後志支庁地域政策部環境生活課)
- ・小笠原実孝氏 (空沼岳・万計山荘友の会 副会長)
- ・片山 徹氏 (白雲岳避難小屋管理人)
- ・荒井修二氏 (北海道環境生活部環境室自然環境課)
- ・内藤美佐雄氏 (美瑛山岳会 事務局長)
- ・石森 充氏 (平取町山岳会 会長)

みなさん、自然にインパクトを与えない山小屋トイレの維持管理のために、ご苦労されているようでした。また、トイレの無い美瑛富士避難小屋の最適なトイレ方式についても意見交換、問題解決に向け熱い議論が交わされました。

2. 山のトイレマナーガイド(カラー版)を作成(2004.2.20)

念願だった北海道版山のトイレマナーガイドを作ることができました。A4版三つ折りで、今までの当会の活動の思いが凝縮されたリーフレットです。

「北海道の夏山ガイドブック」の著者である菅原靖彦さんにデザインとイラストを担当していただきました。親しみやすく、分かり易い内容に出来上がり満足しています。

トイレデーや各種イベント等で配布して、是非多くの人に見てもらいたいと思っています。



マナーガイドの欲しい方は事務局まで連絡くださいね!



参加者とゲストスピーカーを同じ目線にして、意見交換しやすとした



羊蹄山避難小屋トイレの維持管理について報告する小室さん

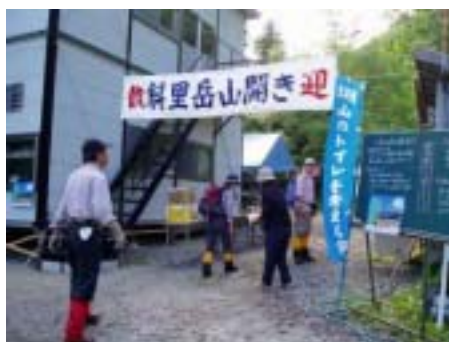
3. 2004山のトイレデー(2004.6.27)

2004トイレデーは大雪山の山開きに合わせ6月27日に実施しました。北海道の約22箇所の登山口で新しい山のトイレマナーガイドの配布、トイレマップの配布、登山者への啓発、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を一斉に行いました。参加者は約90名、マナーガイドの配布数は約1200枚を配布することができました。「ティッシュは持ち帰っているよ」「携帯トイレも使っているよ」「毎年やっているんだねえ」

「にはトイレが欲しいですね」など多くの人の声を聞くことができました。トイレ問題の認知度もかなり高くなったきたと思います。活動に参加して頂いたみなさま、ありがとうございました。



羊蹄隊(真狩登山道にて)



斜里岳隊(登山口にて)



手稲山隊(登山口にて)

4. 美瑛富士清掃登山でウンコ担ぎ下ろし (2004.9.7)

美瑛富士の避難小屋は1996年に新しく建替えられましたが、トイレがありません。そのため小屋付近は糞尿とテッシュで汚れており、目を覆うばかりの状態です。

美瑛富士避難小屋は、人気のオプタシケ山への登山ルートにあり、十勝連峰と大雪山を繋ぐ中継地点でもあることから、多くの登山者が利用しています。

今回の清掃登山では、ゴミや使用済みの紙を回収するだけでなく、し尿散乱の状況を把握する意味も込めて放置されたウンコの回収も行うこととしました。

当日は当会の横須賀代表はじめ、当会会員、北海道の山メーリングリスト会員などの他、美瑛山岳会の内藤事務局長を含め17名が参加しました。ビニール袋、火ばさみ、バケツといった清掃用具を持ち、テッシュ142箇所、ウンコ51盛を回収し、担ぎ下ろしました。参加されたみなさんお疲れ様でした。

また、参加してアドバイスいただいた美瑛山岳会とウンコの処分でお世話になった美瑛町にお礼申し上げます。

当会では、この小屋にトイレが設置できるよう、今後、行政等に働きかけていきます。多くの皆様のご支援をお願い致します。



清掃を終えて(美瑛富士避難小屋の前)



古いゴミも回収する



回収したウンコ

6. 山小屋フォーラムで活動報告 (2004.10.16)

札幌エルプラザで初めての「北海道山小屋フォーラム」が行われました。道内にある山小屋のあり方を問う集まりに当会も招かれ、会の副代表である岩村が報告をしました。

会発足以来の活動内容、今後の取り組み方針、山小屋と山トイレ問題の関わり、既存山岳会の役割など多岐に渡る内容に時間もオーバーするほどでした。また山小屋の主たる問題もトイレに関するものが多く、今後も山小屋との連携が欠かせないのが浮き彫りになりました。

7. 利尻富士町と利尻町へ回収ボックス寄贈

登山・トレッキングウェアの専門メーカーである(株)ムッシュさんは、売上げの一部を山岳環境保護に充てる社会貢献活動をしています。この件で、当会に連絡があり、検討した結果、利尻山で携帯トイレの使用を推進している利尻富士町と利尻町にそれぞれ1基ずつ回収ボックスを寄贈する運びとなり、6月に鷺泊コースと杓形コースの登山口に設置されました。(株)ムッシュのホームページ

<http://www.musshu.co.jp/>

News

2004山のトイレデー利尻!

携帯トイレの使用を推進している利尻山で9月11日、山のトイレを考える会利尻グループ・利尻礼文サロベツパークボランティアの会主催で清掃登山を実施しました。

参加者は8名。杓形コースと鷺泊コースの2班に分かれて、マナーガイドの配布、ゴミやテッシュの回収、携帯トイレブースの修理などを行いました。

登山口トイレが増えています!

当会のホームページに登山口や山域トイレの写真を随時掲載していますが、最近になって、登山口のトイレが新設されたり、綺麗なトイレに建替えになっている情報が多く寄せられています。トイレを維持管理している多くの皆様に感謝します。



室蘭岳白鳥ヒュッテのトイレ



暑寒別岳(暑寒コース)のトイレ



西別岳登山口のトイレ

第6回フォーラム開催案内

2005年3月5日(土)

場所: 札幌市環境プラザ「環境研修室1・2」
札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2階

TEL: 011-728-1667

時間: 午後1時(開演)~午後5時

講演: 屋久島の自然環境とトイレ問題
屋久島ユネスコ協会 堀内直哉氏

(スピーカー予定者)

利尻富士町 須間豊氏

上川支庁 酒元辰也氏

美瑛ネチャクワ 池田しのぶ氏

連絡先

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究科園芸緑地学講座内
山のトイレを考える会事務局 (担当: 愛甲哲也)

電話&FAX: 011-706-2452 電子メール: hokkaido@yamatoiilet.com

活動の詳細はホームページに載っています

<http://www.yamatoiilet.com>